

令和3年度

事業報告書
決算報告書

東京土木施工管理技士会

はじめに

会員各位のご支援・ご協力により、令和3年度事業が遂行できましたことを心から感謝申し上げます。

当会は、会員技術者の技術力向上、若手技術者の育成や資格取得の支援に重点を置き、各種講習会・研修会を実施するほか、関係法令・制度・行政施策等の情報提供といたしまして、官公庁による概要解説の説明会を実施いたしました。

また、会員が施工する土木工事現場を視察し、土木技術者の技術力向上の支援に努めました。

広報事業の一環として、優秀な人材の確保を支援するため学生向け合同企業説明会「みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ」を開催いたしました。

これらの当会の活動内容や、会員企業の働き方改革の取り組み状況等を機関誌「DOBOKU 技士会 東京」にて会員や関係団体の皆様に周知し、技士会活動をPRいたしました。

令和 3 年度

事業報告書

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会等の実施

若手技術者の育成や会員技術者の技術力向上のための研修会・講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、その多くをオンライン開催とし、全 22 回開催した。

①若年技術者のための支援

- ・ 建設業新入社員研修会〔共催〕

(第 1 回)〈オンライン〉	4 月 5 日
(第 2 回)〈オンライン〉	4 月 6 日
- ・ 新入社員半年フォロー研修会〔共催〕

(第 1 回)〈対面〉	10 月 27 日
(第 2 回)〈対面〉	〃
(第 3 回)〈対面〉	11 月 2 日
(第 4 回)〈対面〉	〃
- ・ 若手社員(3 年次～5 年次)フォロー研修会〔共催〕

(第 1 回)〈オンライン〉	11 月 18 日
(第 2 回)〈オンライン〉	〃

②土木施工管理技士資格取得のための支援

- ・ 1 級 第一次検定 受験準備講習会 2 日間講習〔共催〕

〈オンライン〉	6 月 3 日～4 日
---------	-------------
- ・ 1 級 第二次検定 受験準備講習会〔共催〕

〈オンデマンド〉	9 月 6 日～10 月 3 日
----------	------------------

③基礎的な技能習得のための支援

- ・ 安全管理講習会

〈オンライン〉	4 月 22 日
---------	----------
- ・ コンクリート施工技術講習会〔共催〕

〈オンライン〉	7 月 9 日
---------	---------
- ・ 環境管理講習会

〈オンライン〉	10 月 28 日
---------	-----------
- ・ 基礎から学ぶ土工学

〈オンライン〉	11 月 26 日
---------	-----------

④総合的な技能習得のための支援

- | | | |
|-------------------------|---------|--------|
| ・現場管理スキルアップ講習会 | 〈オンライン〉 | 5月19日 |
| ・現場代理人の折衝力強化研修会〔共催〕 | 〈オンライン〉 | 6月7日 |
| ・基礎から学ぶ河川維持管理セミナー | 〈オンライン〉 | 9月16日 |
| ・生産性向上（BIM/CIM）セミナー〔共催〕 | 〈オンライン〉 | 10月22日 |
| ・原価管理講習会 | 〈オンライン〉 | 12月10日 |
| ・工事成績評定アップセミナー | 〈対面〉 | 1月14日 |
| ・コンクリート維持管理技術講習会（上級編） | 〈オンライン〉 | 2月4日 |
| ・まだ間に合う建設業の働き方改革セミナー | 〈オンライン〉 | 3月8日 |

(2) 土木工事現場の視察

- | | | |
|---------------|---------|--------|
| ・新東名高速道路 川西工事 | 〈オンライン〉 | 10月14日 |
|---------------|---------|--------|

(3) 異業種他分野等各種施設の視察

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、異業種他分野等各種施設の視察を中止した。

2. 関係法令・制度・行政施策等の情報提供

(1) 法改正等に伴う説明会の実施

- | | | |
|-------------------|---------|--------|
| ・建設業の取引適正化に関する説明会 | 〈オンライン〉 | 11月15日 |
|-------------------|---------|--------|

(2) 入札契約に関する説明会の実施

- | | | |
|------------------------|---------|-------|
| ・関東地方整備局入札・契約制度に関する説明会 | 〈オンライン〉 | 6月18日 |
|------------------------|---------|-------|

3. 広 報 事 業

(1) 若年者への魅力ある建設業の PR

若者への建設業の PR と会員企業の人材確保の一助となるよう主に大学生を対象にインターンシップと業界研究のイベントを東京建設業協会と共催した。

- ・「みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ」開催〔共催〕

〈オンライン説明会〉12月4日～5日

〈オンライン配信〉12月24日～2月22日

(2) 一般向けの理解促進に関する事業

一般の方々に土木施設や技術について理解を深めていただく見学会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により、開催を中止とした。

(3) 機関誌「DOBOKU 技士会 東京」の発行

機関誌「DOBOKU 技士会 東京」を年4回発行し、会員及び関係行政機関・建設関係団体等に配布した。

- ・第85号（令和3年4月）
- ・第86号（令和3年7月）
- ・第87号（令和3年10月）
- ・第88号（令和4年1月）

(4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

講習会・見学会の開催案内をはじめ、メールとホームページを活用して情報を提供し、利便性の向上に努めた。

4. 調査研究

講習会で使用するテキストの作成及び研究をはじめ、講習会受講者アンケートや現場見学会受入れ調査などを実施した。

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

5. 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施

会員から推薦された優良技術者 118 名を表彰した。

- (2) 各種表彰候補者の推薦

優良技術者表彰の中から 12 名と理事 1 名を（一社）全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦した。

6. 連絡協議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、（一社）東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

7. 会議

- (1) 総会

定時総会 〈書面表決〉 5月31日

議決事項

- ① 令和 2 年度事業報告並びに同決算報告に関する件
 - ② 令和 3 年度事業計画（案）並びに同収支予算（案）に関する件
- 優良技術者表彰 118 名

(2) 理事会

第1回 理事会 〈書面表決〉 5月18日

- ① 令和2年度事業報告並びに同決算報告に関する件
- ② 副会長選任に関する件
- ③ 常務理事を承認する件
- ④ 令和3年度定時総会を書面表決とする件

第2回 理事会 〈オンライン〉 3月29日

- ① 令和4年度事業計画（案）に関する件
- ② 令和4年度収支予算（案）に関する件

(3) 監事会 〈対面〉 4月14日

- ① 令和2年度事業報告に関する件
- ③ 令和2年度決算報告に関する件

8. 委員会

(1) 総務委員会

第1回 総務委員会 〈オンライン〉 12月16日

- ① 令和3年度会員の異動状況と収入状況について
- ② 令和3年度事業の実施状況について
- ③ 令和3年度事業の今後の予定について

第2回 総務委員会 〈対面〉 3月16日

- ① 令和4年度事業計画（案）について
- ② 令和4年度収支予算（案）について
- ③ 理事会・定時総会(予定)

(2) 事業運営委員会

第1回 事業運営委員会 〈オンライン〉 12月3日

- ① 令和3年度事業の実施状況について
- ② 今後の事業予定について
- ③ 優良技術者表彰について
- ④ みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタについて

第2回 事業運営委員会 〈オンライン〉 3月10日

- ① 令和4年度事業計画（案）について
- ② 令和4年度優良技術者表彰について
- ③ 令和4年度理事会・定時総会（予定）

・ 講習会グループ会議 〈オンライン〉 11月19日

〈オンライン〉 2月18日

令和3年度講習会事業の実施状況、令和4年度講習会事業などを協議するため開催した。

・ 現場視察グループ会議 〈オンライン〉 3月2日

令和4年度の現場見学会候補地選定をするため開催した。

・ 情報・広報グループ会議 〈オンライン〉 6月23日

〈オンライン〉 11月11日

〈オンライン〉 2月9日

機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行、合同企業説明会、異業種他分野各種施設見学会及び一般向け施設見学会候補地などを協議するため開催した。

令和 3 年度

決算報告書

収 支 計 算 書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目				
会費収入		33,300,000	33,085,340	214,660	99.4%
	個人会費	300,000	281,000	19,000	
	法人会費	32,000,000	31,804,340	195,660	
	賛助会費	1,000,000	1,000,000	0	
入会金収入		100,000	92,000	8,000	92.0%
	入会金収入	100,000	92,000	8,000	
事業収入		4,200,000	4,973,000	△ 773,000	118.4%
	講習会収入	4,200,000	4,973,000	△ 773,000	
雑収入		100,000	61,169	38,831	61.2%
	雑収入	100,000	61,169	38,831	
当期収入合計 (A)		37,700,000	38,211,509	△ 511,509	101.4%
前期繰越収支差額		7,190,000	7,099,272	90,728	
収入合計 (B)		44,890,000	45,310,781	△ 420,781	100.9%

Ⅱ. 支出の部

(単位:円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目				
事業費		28,150,000	25,933,823	2,216,177	92.1%
	給料手当	10,500,000	10,374,032	125,968	
	福利厚生費	1,560,000	1,514,823	45,177	
	旅費交通費	50,000	16,867	33,133	
	通信運搬費	900,000	841,578	58,422	
	会議費	900,000	497,082	402,918	
	講師謝金	1,400,000	1,377,400	22,600	
	研修講習費	2,200,000	2,182,178	17,822	
	資料印刷費	1,600,000	1,452,409	147,591	
	調査視察費	900,000	169,771	730,229	
	広報費	4,600,000	4,391,044	208,956	
	行事費	1,700,000	1,386,028	313,972	
	負担金	1,790,000	1,686,500	103,500	
	雑費	50,000	44,111	5,889	
管理費		9,050,000	6,790,606	2,259,394	75.0%
	給料手当	3,200,000	2,731,204	468,796	
	福利厚生費	720,000	603,160	116,840	
	旅費交通費	50,000	4,550	45,450	
	通信運搬費	350,000	259,706	90,294	
	備品消耗品費	350,000	241,812	108,188	
	賃借料	1,470,000	1,374,736	95,264	
	水道光熱費	580,000	564,000	16,000	
	総会費	2,300,000	1,000,955	1,299,045	
	雑費	30,000	10,483	19,517	
引当預金支出		400,000	400,000	0	
	退職給与引当預金支出	400,000	400,000	0	
積立預金支出		1,000,000	1,000,000	0	
	記念事業基金	1,000,000	1,000,000	0	
予備費		1,000,000	0	1,000,000	
	予備費	1,000,000	0	1,000,000	
当期支出合計(C)		39,600,000	34,124,429	5,475,571	86.2%
当期収支差額(A)-(C)		△ 1,900,000	4,087,080	△ 5,987,080	
次期繰越収支差額(B)-(C)		5,290,000	11,186,352	△ 5,896,352	

正味財産増減計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

勘定科目	金額		
I 増加の部			
1. 資産増加額			
当期収支差額	4,087,080		
退職給与引当預金増加額	400,000		
積立預金増加額	1,000,000		
資産増加額		5,487,080	
2. 負債減少額			
退職給与引当金取崩額	0		
負債減少額		0	
増加額合計			5,487,080
II 減少の部			
1. 資産減少額			
退職給与引当預金減少額	0		
資産減少額		0	
2. 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	400,000		
負債増加額		400,000	
減少額合計			400,000
当期正味財産増加額			5,087,080
前期繰越正味財産額			31,099,272
期末正味財産合計額			36,186,352

貸借対照表

(令和4年 3月31日現在)

(単位:円)

勘定科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	338,764		
預金	11,829,588		
流動資産合計		12,168,352	
2. 固定資産			
退職給与引当預金	3,553,913		
記念事業基金	5,000,000		
財政調整基金	20,000,000		
固定資産合計		28,553,913	
資産合計			40,722,265
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	982,000		
流動負債合計		982,000	
2. 固定負債			
退職給与引当金	3,553,913		
固定負債合計		3,553,913	
負債合計			4,535,913
III 正味財産の部			
正味財産			36,186,352
(うち当期正味財産増加額)			(5,087,080)
負債及び正味財産合計			40,722,265